

■ 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
剰余金の配当基準日	
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 (お 問 合 せ 先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
公 告 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.g-7holdings.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
単 元 株 式 数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 大阪証券取引所 (証券コード7508)

(ご注意)

- (1)株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株 主 通 信

第37期 中間報告書
平成23年4月1日～平成23年9月30日



当社に関する情報は
ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.g-7holdings.co.jp/>

オートバックス・業務スーパーで躍進する
株式会社 G-7 ホールディングス

本社 〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台三丁目1番地の6
TEL 078-797-7700 FAX 078-797-7710

オートバックス・業務スーパーで躍進する
株式会社 G-7 ホールディングス

売上拡大とコスト削減で高収益性を実現する、 強靱な企業体質づくりに邁進します。

G-7グループは「オートボックス」「業務スーパー」のフランチャイジーとして、現在、国内最大店舗数を展開しています。また、グローバル展開を進め、マレーシア、中国、ベトナムでの海外事業を積極的に展開していく計画です。一方、国内でも農産物の産直市場を展開する「めぐみの郷」を低価格食品スーパーなどと複合化することにより、利益貢献に取り組んでいます。



代表取締役会長 木下 守

代表取締役社長 金田 達三

Q | 当中間期の業績とその要因について ご説明ください。

A | 第37期中間期(平成23年4月1日～平成23年9月30日)の業績は、売上高が36,479百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益が1,037百万円(前年同期比2.4%増)、経常利益が1,048百万円(前年同期比1.9%減)、中間純利益が564百万円(前年同期比37.0%増)となりました。

事業別でみると、オートボックス・車関連事業では地デジ移行にともなう地デジチューナーの売上増やタイヤの値上げ前の駆け込み需要などに加えて、メンテナンス部門の比率上昇と一

人当たりの生産性向上が功を奏したことがプラス要因としてあげられます。

業務スーパー・こだわり食品事業では、震災以降特に、消費者の内食志向の高まりが加速する中、業務スーパーが堅調に推移したことなども好要因です。一方、アグリ事業は、「めぐみの郷」を新たに7店舗開設した効果などにより売上高は大幅に伸びたものの、初期出店費用や減価償却負担増などがかさんだことが収益に影響しました。

なお、通期の連結業績予想は、売上高75,000百万円(前期比5.0%増)、営業利益2,500百万円(前期比0.9%増)、経常利

益2,200百万円(前期比15.1%減)、当期純利益が500百万円(前期比28.8%減)としております。主力2事業が本年9月まで好調に推移し、車関連事業においては冬用タイヤ・チェーンなどの売上が冬場に増加が期待されることや、「めぐみの郷」の複合店舗化による集客力アップなどによって収益増を見込んでおります。

Q | 海外展開についてご紹介ください。

A | アジア圏への本格進出の皮切りとして、平成24年早々にマレーシアでカー用品販売事業をスタートするほか、中国、ベトナムで食品スーパー事業を開始します。平成28年3月期には全体の10%を占める100億円規模の売上高をめざしています。

マレーシアでは、本年、カー用品販売事業の現地法人「SEVEN FORTUNE MALAYSIA SDN.BHD.」を設立しました。クアラルンプール郊外の1号店オープンは平成24年1月から2月を予定しており、3年目での黒字化をめざしています。カー用品のアフターマーケット需要が見込める同国では、クア



▲ SEVEN FORTUNE MALAYSIA SDN.BHD. 1号店 完成予想図

ラルンプールを中心に3年間で5店舗程度の出店を計画しています。

また中国では、食品スーパー「七福超市(Seven Fortune Mart)」を上海郊外、北京、成都などの住宅街に展開していく予定です。新規進出に当たっては日本で蓄積した店舗運営ノウハウを導入し、競合他社との差別化を進め、集客を伸ばしていく方針で、3年間で30店舗の出店を目標としています。

ベトナムにも食品スーパーで進出します。1店舗目は平成24年夏以降の予定ですが、3年間でホーチミン3店舗、ハノイ3店舗の出店をめざしています。

■ G-7グループが挑戦する事業



Q | 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A | G-7グループは、積極的な事業展開でさらなる売上の伸長をめざすとともに、グローバルな領域での事業推進にも注力していきます。株主の皆様のご期待に沿えるよう、企業価値の最大化に向けて努力してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

お客様目線で暮らしの楽しさを創出する、数々の事業を展開しています。

「長く乗り続ける」時代に対応する事業を展開

オートバックス

オートバックスでは、自動車保有期間の長期化にともない需要増が見込めるメンテナンス部門の売上拡大を図るため、BP(板金塗装)事業の拡大を推進しています。

平成22年開設の「BPセンター神戸中央」(神戸市中央区)に続き、平成23年春、兵庫県加古川市に「BPセンター土山」を新設しました。今後は県内4ヶ所での展開をめざします。土山集中BPセンターでは、同じ敷地内にあるオートバックスNEW土山店からの誘導、自動車保険への誘導などを積極的に行い、入庫台数増と売上増を図っています。

■ オートバックスBPセンター土山

兵庫県加古川市 [平成23年4月1日開店]



LED灯採用で省エネ対策を推進

業務スーパー

生鮮食品や低価格の日用品、PB(プライベートブランド)の冷凍・加工商品など、値頃感と品揃えの充実でお客様に指示される「業務スーパー」では、店舗の電灯を順次LEDに変更する作業を進めています。このLED灯採用により、蛍光灯と比較して約30%の節電が実現します。現在、新規出店する店舗はすべてLED灯を採用し、平成23年6月以降節電対策を施した3店舗を開店しました。

■ 業務スーパー六角橋店

神奈川県横浜市 [平成23年7月28日開店]



■ 業務スーパー黒川店

神奈川県川崎市 [平成23年6月16日開店]



安全・安心・新鮮な「食」の実現に向けてアグリ事業を強化

産直市場 めぐみの郷

○ 続々と新店舗オープン

地元農家の新鮮な食料品を提供する「めぐみの郷」。事業開始2年目を迎えた平成24年3月期は、計30店舗を展開する計画です。



■ めぐみの郷 西脇店

兵庫県西脇市 [平成23年5月26日開店]



■ めぐみの郷 田原本千代店

奈良県田原本町 [平成23年4月21日開店]

■ めぐみの郷 和田山店

兵庫県朝来市 [平成23年5月3日開店]



■ めぐみの郷 松戸店

千葉県松戸市 [平成23年4月6日開店]

ナチュラルアートとの提携により仕入ルート拡充

平成23年7月、全国の大規模農業者ネットワークを有し農産物の生産・販売を行う㈱ナチュラルアートと業務提携が実現しました。今後は、仕入ルートの拡充を通じた新規出店の加速をめざします。

めぐみの郷ファーム千葉を運営開始

平成23年6月1日、千葉市緑区に「めぐみの郷ファーム千葉」を開設しました。農園では小松菜やほうれん草、イチゴなどを栽培し、千葉県内の各店舗にめぐみの郷ブランドとして供給。農業体験や指導者付の貸し農園事業も行っていく予定です。



○ 低価格食料品スーパー併設型5店舗を新展開

平成22年12月より低価格食品スーパーを併設した新型店舗を開設し、値頃感のある商品の品揃えを強化し、売上拡大を図る新戦略を5店舗で採用しました。

■ めぐみの郷 & 食品スーパー 泉佐野店

大阪府泉佐野市 [平成22年12月23日開店]

■ めぐみの郷 & 食品スーパー 北神皇和台店

兵庫県神戸市北区 [平成23年4月27日 リニューアル]

■ めぐみの郷 & 食品スーパー 六甲店

兵庫県神戸市灘区 [平成23年6月8日開店]

■ めぐみの郷 & ぷちまる 五井店

千葉県市原市 [平成23年6月15日開店]

■ めぐみの郷 & 食品スーパー 土浦店

茨城県土浦市 [平成23年9月1日開店]



農業生産法人デコボンと連携

平成23年4月に有機農産物の大手生産者連合である㈱デコボンと、農産物の生産委託に関する業務提携を締結しました。この提携により、関東エリアにおける安全・安心な野菜の供給体制の確立を図ります。

「惣菜ショップ Green'sK」併設店が誕生

1g1円の各種惣菜や手作り弁当などを展開する「惣菜ショップ Green'sK」が、平成23年4月「めぐみの郷」湊川店(神戸市)に開店しました。「惣菜ショップ Green'sK」は現在、愛知、神奈川、兵庫に各1店舗出店しており、この出店で4店目となります。

多様な「食」のスタイル提案を通じて顧客との関係強化を推進しています。

低価格鉄板ビュッフェをFC展開

鉄板ビュッフェGreen'sK



▲店内

(株)めぐみのさとは、鉄板料理の食べ放題(ランチ:男性700円、女性500円)が楽しめる「鉄板ビュッフェGreen'sK」のFC展開を行います。

FC契約による1号店・枝吉店(神戸市)は、産直市場「めぐみの郷」に併設。

複合店舗化することにより、お客様の利便性向上と一段の集客力アップを図ります。



▲鉄板ビュッフェGreen'sK

100円均一の焼きたてパンショップ

めぐみベーカリー

焼きたてパン約60種を全種類100円で販売する事業に進出しました。成型されたパンの供給を(株)阪急ベーカリーより受け、店内で焼き上げるシステムで、平成23年10月には第1号店を産直市場「めぐみの郷」六甲店内(神戸市)にオープン。今後はオートバックス、業務スーパーなどにも併設していきます。人気の焼きたてパン店を導入することで、集客および売上の向上をめざします。



▲めぐみベーカリー

日本全国から集めた厳選商品約1,500点を販売

こだわり食品館

日本全国より高品質な食品などを集めた「こだわり食品館」を大阪・心斎橋に、平成23年5月にオープンしました。販売するのは、全国のメーカー約3,000社、6万点の中から「美味しい・うれしい・発見できる」をコンセプトに厳選した商品約1,500点。内容はちょっと贅沢なスイーツ、調味料、飲料などグロッサリー、化粧品などで、オーガニック商品も多数取り扱っています。

こだわり食品への関心の高さが期待できる20~40代の働く女性と、その友人や家族をメインターゲットに、美味しくてごまかしのない本物、安全な商品を提供する情報発信基地としての店舗づくりをめざします。また、「吸収して発信する」店舗として、お客様の生の声を収集し、メーカーへフィードバックすることで、より付加価値の高い商品開発、トレンドの創出を行っていきます。

- こだわり食品館の情報は、随時Facebookでご覧いただけます。
<http://www.facebook.com/codawarishokuhinkan>

■ こだわり食品館 心斎橋店

大阪市中央区
【平成23年5月28日開店】



地域のニーズに応え、暮らしに彩りをプラスする魅力的な事業ネットワークを拡大してまいります。

(株)G-7ホールディングスは車関連事業、食品スーパー・フード関連事業を中心に、新業態へも積極的に取り組み、各地で店舗ネットワークを拡大しています。今後も地域の暮らしに根付き、お客様の暮らしを明るく彩る事業を推進してまいります。

(平成23年10月1日現在)

近畿地方

「オートバックス」…………… 32店舗	「神戸粉もん七つの壺」… 3店舗
「スーパーオートバックス」… 2店舗	「惣菜ショップ Green'sK」… 2店舗
「走り屋天国セコハン市場」… 1店舗	「TSUTAYA」…………… 2店舗
「早技車検」…………… 20店舗	「良品賞館」…………… 2店舗
「クリスタルセブン」…………… 1店舗	「めぐみの郷」…………… 18店舗
「バイクセブン」…………… 2店舗	「鉄板ビュッフェGreen'sK」… 1店舗
「カーゾーン」…………… 1店舗	「nagomi」…………… 4店舗
「タイヤ専門館」…………… 1店舗	「こだわり食品館」…………… 1店舗
「BPセンター」…………… 2店舗	「めぐみベーカリー」… 1店舗
「業務スーパー」…………… 29店舗	

中国地方

「オートバックス」…………… 3店舗
「メガリサイクル王国」… 1店舗
「バイクセブン」…………… 1店舗

九州地方

「業務スーパー」…………… 8店舗
「バイクセブン」…………… 1店舗

関東地方

「オートバックス」…………… 6店舗
「業務スーパー」…………… 31店舗
「バイクセブン」…………… 1店舗
「めぐみの郷」…………… 4店舗
「良品賞館」…………… 1店舗
「惣菜ショップ Green'sK」… 1店舗

中部地方

「オートバックス」…………… 6店舗
「早技車検」…………… 2店舗
「業務スーパー」…………… 24店舗
「惣菜ショップ Green'sK」… 1店舗
「バイクセブン」…………… 1店舗

オートバックス・車関連事業

売上高 **142億79百万円**

オートバックス・車関連事業につきましては、地デジへの移行にともない、地デジチューナーの販売とタイヤ値上げにもなう駆け込み需要が急増いたしました。さらに、お客様の視点に立った売り場づくりをめざし、前期より「オートバックス」既存店の改装に取り組んでおり、改装店舗においてカー用品の売上が増加し、効果があらわれてきました。また、引き続きメンテナンス部門の比率を高め利益率の向上に努めました。これらにより売上高は142億79百万円、営業利益は6億24百万円となりました。



▲オートバックスBPセンター土山

業務スーパー・こだわり食品事業

売上高 **210億67百万円**

業務スーパー・こだわり食品事業につきましては、震災以降、家族との結びつきを起点に内食志向の高まりが一層加速する中、食材を低価格で提供する「業務スーパー」が引き続き消費者に支持されました。現在、関東・中部地区へ「業務スーパー」の出店を進めており、神奈川県に3店舗（いびき野店、黒川店、六角橋店）をオープンいたしました。また、厳選食品の卸販売を行う「こだわり食品」は、大阪府に初の直営小売店舗「こだわり食品館」（心斎橋店）を出店いたしました。これらにより、売上高は210億67百万円、営業利益は6億85百万円となりました。



▲業務スーパー 黒川店



▲業務スーパー 六角橋店

その他事業

売上高 **11億32百万円**

その他事業につきましては、朝どれの新鮮な農産物を中間流通経費をカットして消費者に提供する産直市場「めぐみの郷」は、出店拡大を推進しており、新たに兵庫県に3店舗（和田山店、西脇店、六甲店）、千葉県に2店舗（松戸店、五井店）、奈良県に1店舗（田原本千代店）、茨城県に1店舗（土浦店）をオープンし、店舗数は22店舗になりました。

現在、「めぐみの郷」は低価格食品スーパーを併設し、顧客の利便性を高めることによって集客力を上げ、売上を伸ばす戦略を実施しています。また、低価格で食べ放題の「鉄板ビュッフェGreen'sK」を「めぐみの郷」に併設した店舗展開もスタートしました。これらにより、売上高は11億32百万円と大幅に伸びたものの、初期出店費用や償却負担増などにより営業損失は2億円となりました。



▲めぐみの郷 & 食品スーパー 土浦店



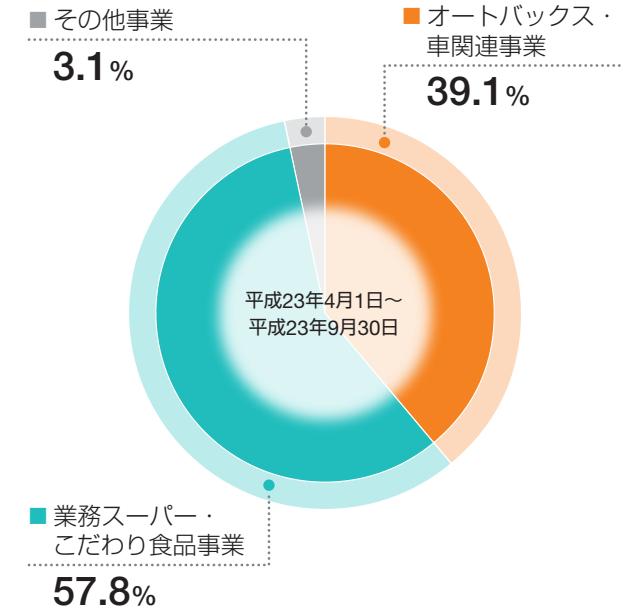
▲鉄板ビュッフェGreen'sK

業績の推移

(単位:百万円)

	第35期中間期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	第36期中間期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	第37期中間期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	第35期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)	第36期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
売上高	32,860	34,494	36,479	67,078	71,457
経常利益	1,145	1,068	1,048	2,247	2,591
中間(当期)純利益	599	411	564	871	701

事業別売上高構成比



※当期から、セグメント区分を変更したため、各セグメントの前年同期との金額比較は記載しておりません。

□ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成23年9月30日現在)	前期 (平成23年3月31日現在)
流動資産	9,927	12,236
固定資産	15,649	15,459
有形固定資産	11,075	10,794
無形固定資産	650	736
投資その他の資産	3,923	3,929
流動負債	12,630	15,203
固定負債	3,558	3,556
純資産合計	9,387	8,936
負債及び純資産合計	25,577	27,696

□ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	前中間期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)
売上高	36,479	34,494
売上原価	26,738	25,504
売上総利益	9,740	8,989
販売費及び一般管理費	8,703	7,976
営業利益	1,037	1,013
経常利益	1,048	1,068
中間純利益	564	411

POINT ① 貸借対照表

■ 資産

当連結中間期末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2,119百万円減少し、25,577百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少が2,448百万円、有形固定資産の増加が281百万円あったこと等によるものであります。

■ 負債

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2,570百万円減少し、16,189百万円となりました。これは主に、商品代金の支払いによる買掛金の減少が687百万円、短期借入金の減少が1,030百万円、法人税等の支払いによる未払法人税等の減少が288百万円あったこと等によるものであります。

■ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ451百万円増加し、9,387百万円となり自己資本比率は36.7%となりました。

POINT ② 損益計算書

■ 売上高

売上高は、前年同期比1,985百万円増、5.8%増の36,479百万円となりました。

■ 営業利益・経常利益

営業利益は、前年同期比24百万円増、2.4%増の1,037百万円、経常利益は前年同期比20百万円減、1.9%減の1,048百万円となりました。

■ 中間純利益

中間純利益は前年同期比153百万円増、37.0%増の564百万円となりました。

□ 株式の状況

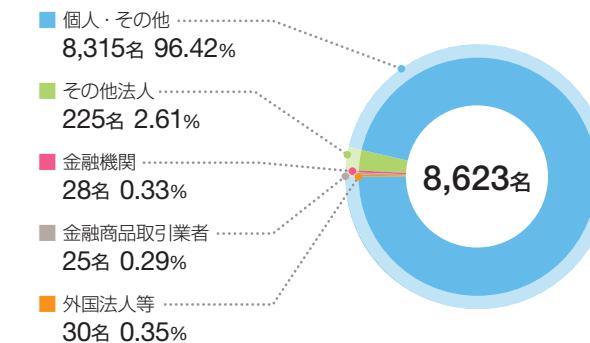
(平成23年9月30日現在)

発行可能株式総数	52,000,000株	
発行済株式の総数	13,336,400株	
株主数	8,623名	
大株主(上位10名)		
株主名	持株数	持株比率
木下 守	1,830 千株	15.04 %
木下 智雄	1,829	15.03
有限会社キノシタファミリーサービス	1,154	9.48
関 稚奈巳	1,129	9.27
木下 陽子	826	6.78
株式会社オートボックスセブン	337	2.77
茂 理佳 弘	176	1.44
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	136	1.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	115	0.94
G-7ホールディングス従業員持株会	105	0.86

(注) 1. 当社は自己株式1,165,391株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

□ 所有者別株主分布

(平成23年9月30日現在)



※諸般の事情により、株主優待制度を廃止いたしました。現在お持ちの優待券は有効期限まで使用できます。

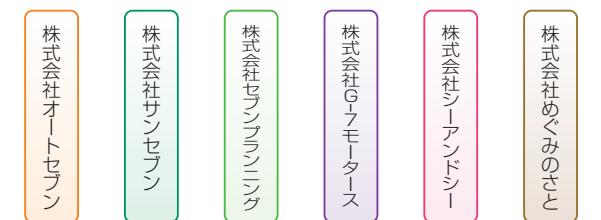
□ 会社の概況

(平成23年9月30日現在)

商号	株式会社G-7ホールディングス G-7 HOLDINGS Inc.
設立	昭和51(1976)年6月18日
資本金	17億8,570万円
代表者	代表取締役会長 木下 守 代表取締役社長 金田 達三
本社	神戸市須磨区弥栄台三丁目1番地の6
事業内容	傘下の各事業会社を支配・管理する持株会社
従業員数	1,210名(グループ計)
ホームページ	http://www.g-7holdings.co.jp/

□ 国内グループ企業

(平成23年9月30日現在)



□ 役員の状況

(平成23年9月30日現在)

取締役会長 (代表取締役)	木下 守	取締役 奥本 恵一
取締役社長 (代表取締役)	金田 達三	取締役 小林 宏至
取締役副社長	木下 智雄	監査役(常勤) 福田 弘
取締役 岸本 安正		監査役 上甲 悌二
取締役 松田 幸俊		監査役 西井 博生

(注) 1. 小林宏至氏は、社外取締役であります。
2. 上甲悌二氏および西井博生氏は社外監査役であります。
3. 当社は、小林宏至氏、上甲悌二氏および西井博生氏を、株式会社東京証券取引所および株式会社大阪証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、両取引所に届け出ております。